

中泊119

平成19年 2月号

火事/救急/救助は
119番

五消本部病院照会
34-4999番

中里消防署
57-2370番

小泊消防署
64-2375番

消防水利の除雪にご協力お願いします

いつも消防水利の除雪に、ご理解とご協力ありがとうございます。昨年からは今年にかけて、例年にならない暖冬が続いています。まだまだ油断できない時季で、これから大雪になる可能性もあります。

消防署でも火災の時に万全を期するため当番、非番を問わず消防水利の除雪を行なっていますが、吹雪の時は、ほんの数時間でスッポリ雪で隠れてしまうことがあります。家の周りの雪かきをしている時に、付近の消火栓や貯水槽が雪に埋もれているのを見かけましたら、消防水利の除雪をしていただければ幸いです。



【 消火栓の除雪作業状況 】

今の時季は、夏場と違い、雪によってゴミの出す場所が狭くなり、よく消火栓などのそばにゴミが山積みになっているものも見受けられます。また、路上に駐車する人は、道路が狭くなっていますので、緊急車両が通れるよう考慮してください。

皆さんのご協力で火災等の被害を最小限に食い止めるためにも、よろしくお願いします。

一日消防士を体験して

平成18年11月19日(日)に中泊町消防団の3名が一日消防士体験で中里消防署に入署しました。今月号は第6分団、部長の工藤輝雄さんの感想文を掲載します。



第6分団 部長
工藤 輝雄

勤務交代で、今日私の消防体験が始まりました。職員による車両点検、整備の際に私が聞くところ一つ一つ教え、全員での朝のミーティング、基本訓練等、そしてポンプ車での水利調査、放水とポンプ車の取扱いで午前中は終わり、午後からのロープ結索法は、自分自身ロープはあまり使ったことがないので勉強になります。今日の関心は二つあります。まず一つは、普通救命

講習で学科をはじめ、実技です。本当に為になりました。大変勉強になり自分自身、そして皆さんが火災や事故のない生活が一番だと思えます。最後に今日一番は男の手料理が大変美味しかったです。

(家でもやるのかな?)

消防職員の皆さんには、今日最初から最後まで、手取り足取りで本当にありがとうございました。これから寒くなりますので、体には十分気を付け頑張ってください。本当にありがとうございました。

冬季間はご注意ください

まだまだ、寒さが厳しいこの時季、外へ出るのはとても気が重くなります。しかし、通勤、通学、買い物や、除雪作業などで外に出なければならぬ事はたくさんあります。そこで今回は、今の時季特有の外での危険と対応について紹介したいと思います。

①外出時の危険！

防寒対策をバッチリしたつもりが、ふとした気の緩みで、雪の上で転倒してしまい体を強打してしまつこともあります。

『頭を強打した場合』

吐き気やめまい、頭痛などが



【 危険箇所 ~ 雪の落ちそうな屋根 】

起きた場合は、すぐに病院へ行くようにしましょう。

『背中、腰を強打した場合』

手足や体の知覚がない、麻痺しているような場合は、脊髄損傷の恐れがあるため、無理に動かさず、助けを叫び、直ちに病院へ行くようにしましょう。

②除雪作業の危険！

雪が積もれば除雪は欠かせない作業の一つです。屋根の上や軒下での除雪をする時は、必ずヘルメットを装着し、軽装では行なわないようにしましょう。特に、屋根の上の除雪作業は足元の安全に気をくばりながら、決して無理をしないことが必要です。

この他にも、冬季間特有の危険な事はまだまだあると思いますので十分気を付けましょう。